

先生	小学生で習う漢字についてヒントを言いますから、当ててみてください。まず一つ目のヒントです。その漢字は音読みで「ソク」といいます。
啓くん	その読みの漢字はたくさんありますね。それだけではわかりません。
先生	では二つ目のヒントです。その漢字の部首は「意」と同じです。
明さん	その字の上に「休」という字がついた二字熟語がありませんか。
先生	はい、あります。
啓くん	わかりました！ その漢字は「(あ)」ですね。
先生	よくできました。では、もう一つ。音読みで「イ」と読んで、「世界(い)産」のように使います。
啓くん	うーん、難しい。他にヒントはありませんか。
先生	その漢字の部首は「達」と同じですよ。
明さん	わかりました。その漢字は「(い)」です！
先生	よくできました。では「意」と「達」を使って、何か筋の通った一文を考えてみてください。
啓くん	「(う)　　う　　(こ)という一文はどうでしょう。」
先生	よくできました。ちゃんと「意」と「達」が使われていますね。
明さん	私も考えました。「(え)　　え　　(こ)という一文はどうですか？」
先生	なるほど。確かに優れた能力や技術を持った方の考えは参考になりますね。

問一 (あ) (い) に入る漢字を答えなさい。

問二 (い) に入る漢字の部首名をひらがなで答えなさい。

問三 (う) (え) に入るふさわしい一文を考えて、それぞれ答えなさい。ただし、会話の流れをふまえた一文とし、同じ内容や同じ表現にならないようにすること。